

安全

交通事故の削減

⑨ 死傷事故率 / H19 目標 : 120.5 (件/億台キロ)



【死傷事故件数】平成17年度:36,694(件/年)⇒平成18年度:33,834(件/年)

達成度報告

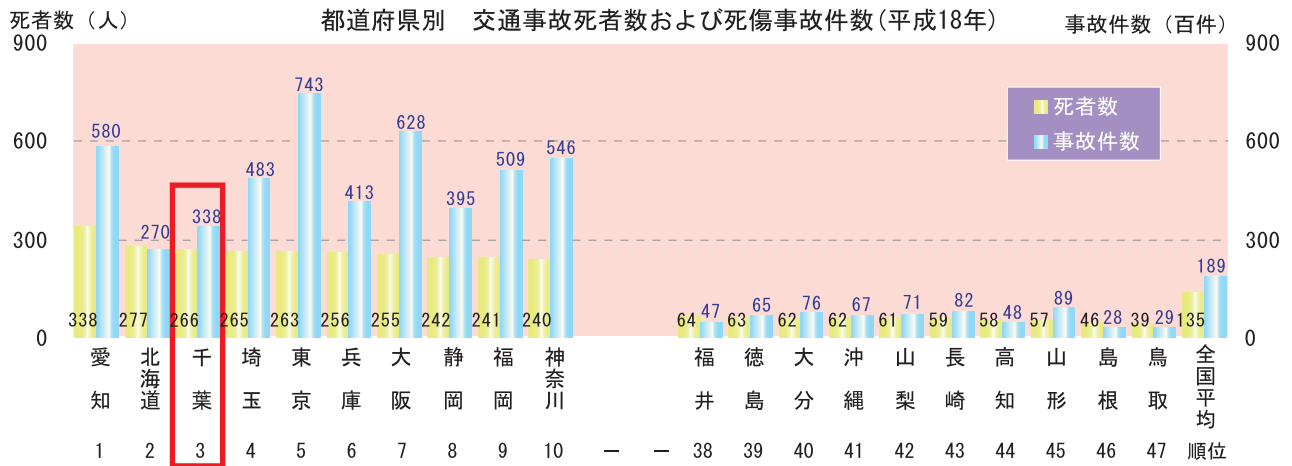
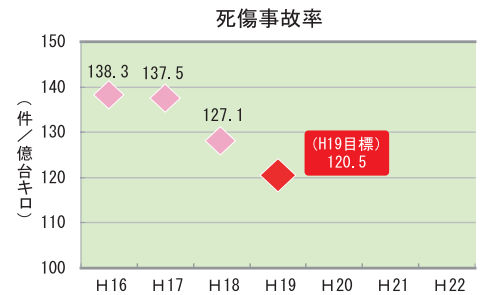
- 「死傷事故率(*巻末用語解説)」は平成17年比で8.6(件/億台キロ)減少し、127.1(件/億台キロ)になりました。
- 平成18年の千葉県内の交通事故死者数は266人で、交通事故(死傷事故)は33,834件発生しました。

業績計画

- 平成19年は死傷事故率120.5(件/億台キロ)を目指します。
- 「交通安全見える化プラン」や「あんしん歩行エリア」の整備等、交通事故を削減する施策を推進します。

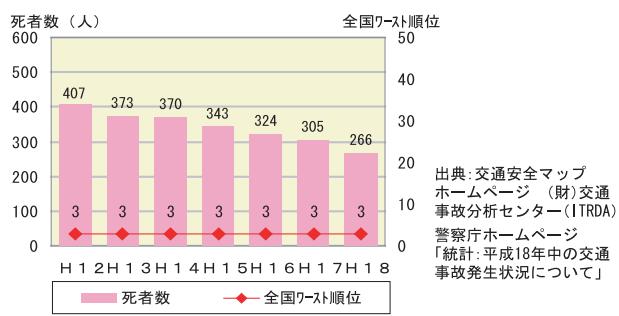
現状と課題

- 千葉県の交通事故死者数は266人(平成18年)で、減少傾向にありますが、全国ワースト3位です。
- 交通事故死者数を年齢構成別に見ると、65歳以上の高齢者の占める割合が約4割と最も多くなっています。今後の高齢化に対応するべく交通事故死者数削減に向けたさらなる取り組みが望まれます。
- 県内の交通事故死者数は、千葉市・市原市を中心とする湾岸地域で多くなっています。

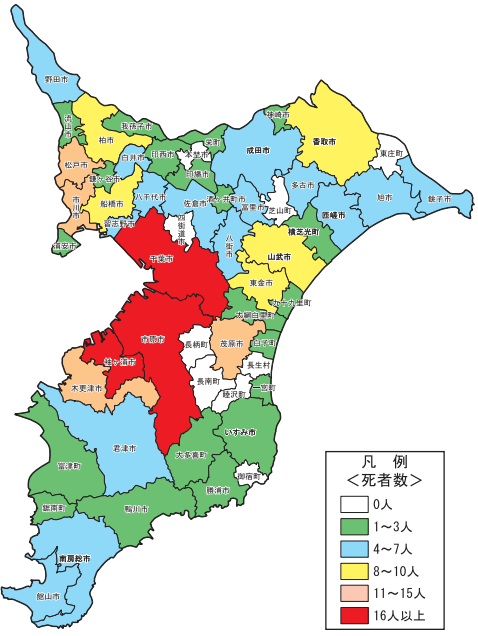


出典:警察庁ホームページ「統計:平成18年中の交通事故発生状況について」

千葉県の交通事故による死者数の推移

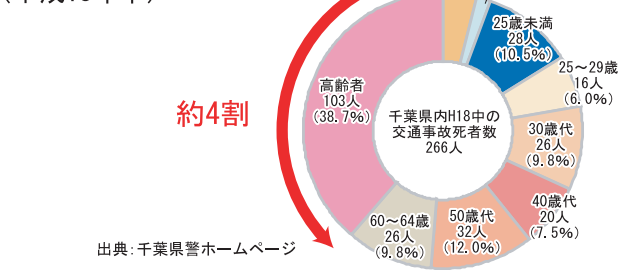


市町村別交通事故死者数(平成18年中)



出典:千葉県警ホームページ

交通事故死者数の年齢構成(平成18年中)



出典:千葉県警ホームページ

死傷事故率は、8.6(件/億台キロ)減少

- 死傷事故率は、平成17年から8.6(件/億台キロ)減少し、127.1(件/億台キロ)になりました。
- 県内の「あんしん歩行エリア」指定箇所で、交通安全の対策事業を推進しています。
- 国道357号の「湾岸千葉地区改良」は、事業推進中です。

代表的な事業 立体交差化により、事故を削減 千鳥町立体・高浜立体

- 「千鳥町立体・高浜立体」は、高浜交差点と近接した千鳥町交差点の立体交差化により直進車を高架橋に転換し、交差点内の交通量を減少させることにより、事故を減らし、交通の円滑化を図る事業です。
- 平成18年5月に海側が完成し、平成19年3月に山側が完成しました。この事業により、合流部の渋滞解消と交差点部の事故減少が期待されます。関連する高浜立体山側は平成16年2月に事業が完了しています。

交通事故の発生状況(平成17年)

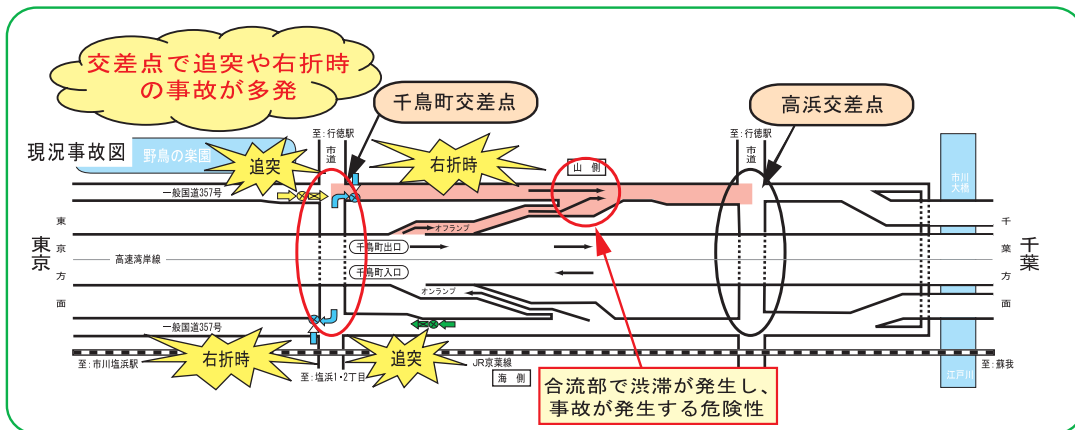
- 死傷事故率: 388件/億台キロ ※1
関東管内平均の約3倍
- 事故件数: 10件/年 ※2
千葉県ワースト13位

出典 ※1: 国土交通省記者発表資料
※2: 事故統計、千葉県警

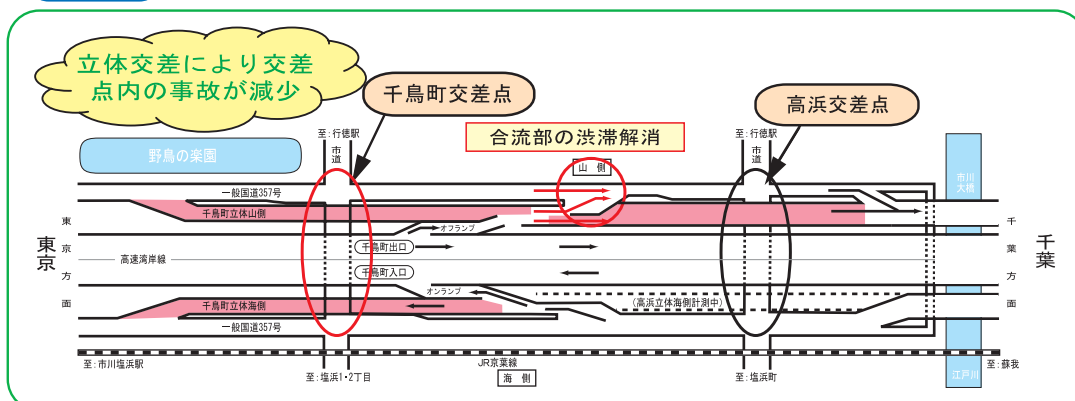


対策前

千鳥町交差点位置図



対策後



出典: 合同記者発表資料(H19.4.17)

- 平成19年度は死傷事故率120.5(件/億台キロ)(平成15年度比1割減)を目指します。
- 交通安全見える化プランで選定された箇所対策を推進します。
- 「あんしん歩行エリア」に指定されている地区では、歩行者通路の設置などの事業を引き続き推進します。
- 国道357号「湾岸千葉地区改良」事業を推進します。

代表的な事業 安全な生活環境の整備
あんしん歩行エリアの整備

- 安全かつ円滑な道路交通環境の整備を目指し、「あんしん歩行エリア」形成事業が実施されています。
- この事業は、事故発生割合の高い地区を指定し、死傷事故抑止対策を集中的に実施するものです。
- 道路管理者と公安委員会が地域住民と協働して、様々な施策を推進しています。
- 全国で約1,000箇所、千葉県内は34箇所指定されています。

整備効果の目標(平成19年度末まで)

指定エリア内の
死傷事故件数
約12,000件
↓
2割抑止

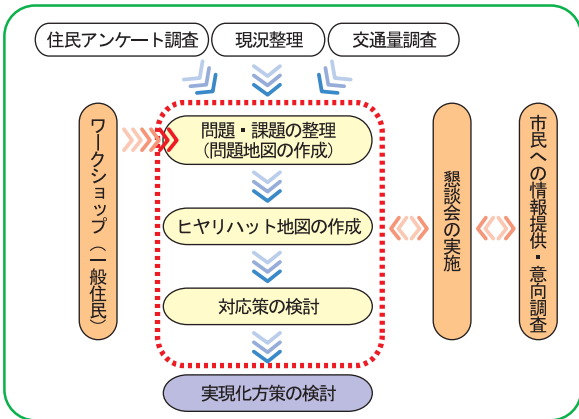
指定エリア内の
歩行者または自転車に
係わる死傷事故件数
約4,300件
↓
3割抑止

注:死傷事故件数は平成11年~13年の合計

千葉市における
「あんしん歩行エリア」整備

- 千葉市では、院内地区、こてはし台地区、千城台地区、鎌取地区の4箇所が「あんしん歩行エリア」に指定されています。
- 懇談会やワークショップ、住民アンケート、ホームページによる情報提供・意向調査など、様々な形で、地域住民と協働して進めています。

【千葉市のあんしん歩行エリア】



【院内地区の検討フローチャート】

代表的な事業

連続立体化により、交差点での事故を削減

国道357号 湾岸千葉地区改良

交通事故の削減

○「湾岸千葉地区改良」は国道14号・国道357号の登戸交差点～千葉市役所前交差点前後を連続立体化する事業です。

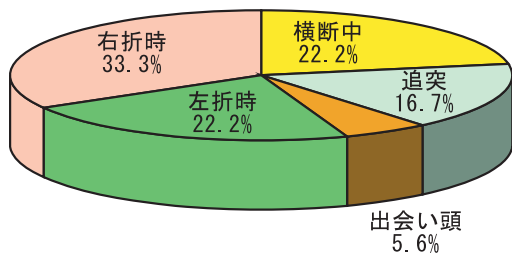
○これにより、事故の削減、渋滞損失の縮減等が期待されます。

交通事故件数
県内ワースト2位

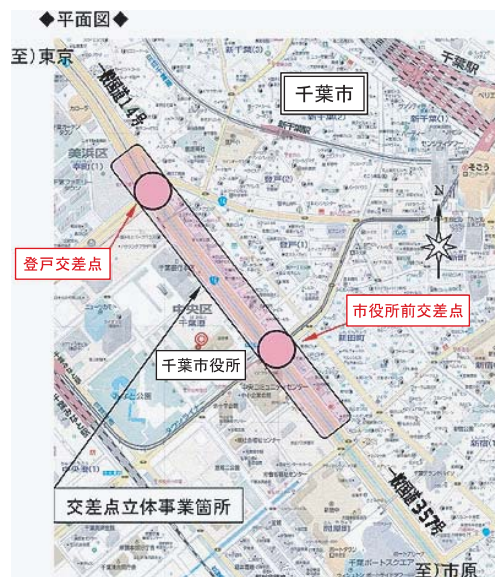
交通事故多発地点(H18)

順位	件数	市町村	路線名	交差点名	発生場所
1	19	千葉市	14号	千葉西警察署前	千葉市美浜区真砂2丁目1番1号
2	18	千葉市	14号	登戸	千葉市美浜区幸町1丁目1番地
3	17	千葉市	14号	幕張4丁目	千葉市花見川区幕張町4丁目417番地25号
4	15	柏市	6号	柏駅西口	柏市明原2丁目1番地1号
5	14	市川市	14号	市川駅北口	市川市市川1丁目11番9号
6	13	千葉市	16号	大網街道入口	千葉市中央区松ヶ丘町30番地
7	12	千葉市	市町村道	小中台高架橋	千葉市稲毛区小中台町1,341番地1
7	12	千葉市	14号	稲毛浅間神社前	千葉市稲毛区稲毛2丁目4番5号
9	11	市川市	14号	市川広小路	市川市市川2丁目11番15号
9	11	柏市	6号	呼塚	柏市柏260番地10
9	11	柏市	6号	あけぼの2丁目	柏市あけぼの4丁目3番13号
9	11	君津市	127号	内箕輪運動公園前	君津市内箕輪1丁目1番1号
13	10	市川市	14号	西消防署前	市川市新田5丁目7番15号
13	10	千葉市	14号	運輸支局入口	千葉市美浜区幸町2丁目20番
13	10	流山市	6号	名都借	流山市名都借835番地

出典：千葉県交通事故統計、千葉県警察本部



登戸交差点における交通事故の類型
出典：平成18年交通事故統計、千葉県警察本部



整備効果の目標(H20以降)

湾岸千葉地区改良により
事業箇所周辺区間の年間死傷事故率
194件/億台km(H14)→概ね1割削減

整備前



【湾岸千葉地区の交通状況】

整備後



【将来イメージ】

安全

災害への

備え

10 橋梁・橋脚の耐震補強完了率／ H19 目標：一般道路 50%、高速道路 100%

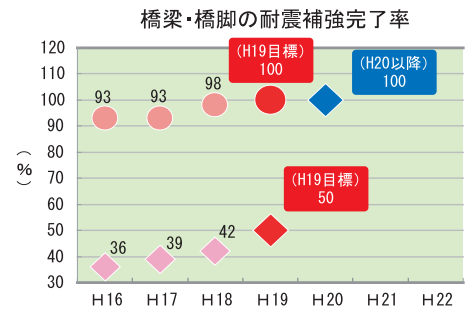
H17 実績	H18 実績	H19 目標	H20以降目標	説明
39	42 (H18目標: 45%)	50	100	一般道路: 橋梁 (全638)
93 (%)	98 (%) (H18目標: 96%)	100 (%)		高速道路: 橋脚 (全1,223)

達成度報告

- 平成18年度は、一般道路では22箇所の橋梁で耐震補強が完了し、耐震補強完了率は42%となりました。
- 高速道路では、61箇所の橋脚で耐震補強が完了し、耐震補強完了率は98%となりました

業績計画

- 依然として、耐震補強が必要な橋梁が368箇所、橋脚が23箇所残っています(平成18年度末)。
- 引き続き耐震補強工事を実施し、一般道路、高速道路とも耐震補強完了率100%を目指します。



現状と課題

- 平成16年10月23日に発生した新潟県中越地震(震度7)によって、道路施設に大きな被害が発生しました。また、新潟県中越地震以降も福岡県西方沖地震(震度6弱)、能登半島地震(震度6強)等の大規模地震が発生しています。
- 近い将来、東海地震、南関東直下地震等大規模地震が高い確率で発生すると予測されており、被災地の迅速な救援活動や緊急物資の輸送を行うためには、震災対策が完了した災害に強い救援ルートの確保が重要な課題となっています。
- 千葉県内の幹線道路には耐震補強が必要な橋梁が638箇所(一般道路)、橋脚が1,223箇所(高速道路)あり、そのうち平成17年度末までに橋梁248箇所、橋脚1,139箇所に関して耐震補強が完了しています。

新潟県中越地震による被災状況



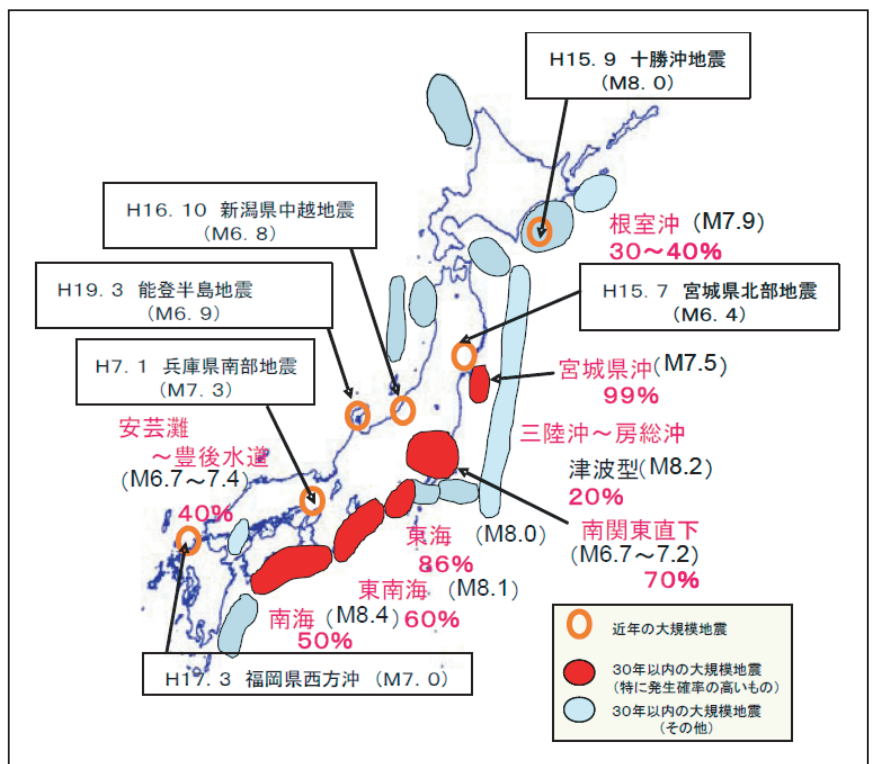
国道8号新組跨線橋



国道17号川口町天納 道路崩壊

写真: 国土交通省北陸地方整備局ホームページ

近年発生した大規模地震と想定される大規模地震



出典: 近年の大規模地震については、気象庁発表値
今後30年以内の大規模地震の発生確率・規模については、海溝型地震の長期評価
(2005年1月1日算定値、平成17年4月13日現在 地震調査研究推進本部発表)

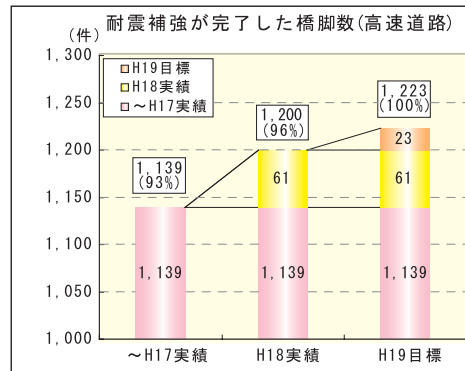
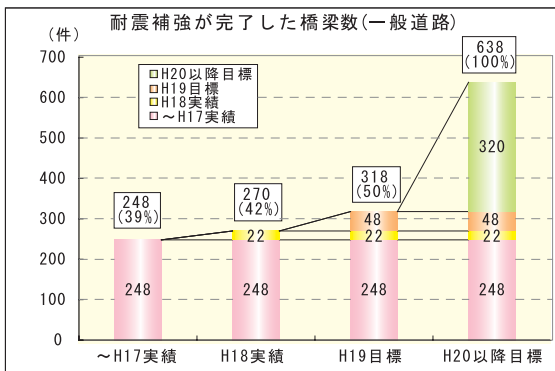
平成18年度
の評価

耐震補強完了率が向上、一般道路は42%、
高速道路は98%

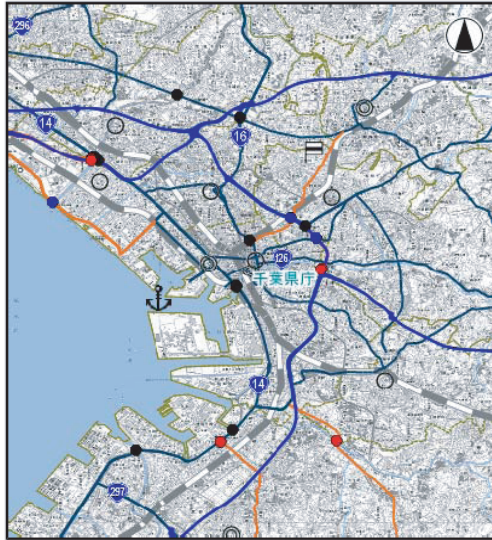
- 平成18年度は、国道6号矢切高架橋、国道16号境橋(下り)など、22箇所の橋梁で耐震補強工事を行いました。
- 一般道路(橋梁)の耐震補強完了率は42%になりましたが、目標にわずか3%達しませんでした。
- 高速道路(橋脚)の耐震補強完了率は5%向上し98%になり、目標を達成しました。

代表的な事業
耐震補強を着実に実施し、災害に強い道路網へ
橋梁の耐震補強

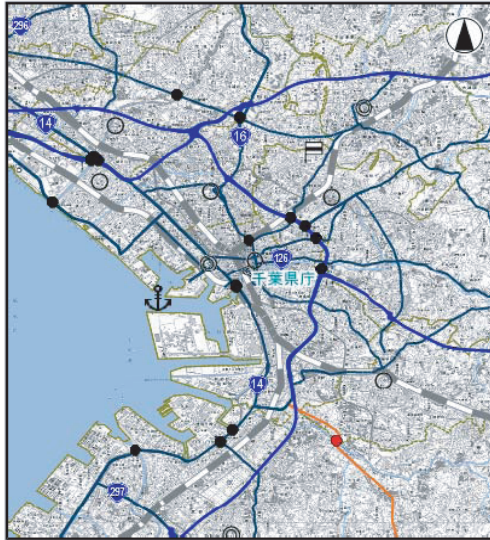
- 阪神・淡路大震災や新潟県中越地震では、道路や橋脚に関しても、甚大な被害が発生しました。
- 国・県では、災害時に速やかな救急活動や緊急物資の輸送ルートとして、主要な道路を「緊急輸送道路(*巻末用語解説)」に指定し、道路構造等を強化しています。
- 平成18年度は、新たに橋梁22箇所(一般道路)、橋脚61箇所(高速道路)の耐震補強工事が完了しました。この結果、耐震補強工事が必要な箇所は橋梁368箇所、橋脚23箇所になりました。



現況：H18年9月時点



計画：H20年3月見込み



2007年04月13日(金曜日)14時41分35秒

「この地図は、国土交通省国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50000(地図画像)を複製したものである。承認番号平成17総復 第360号」
 「市町村合併情報：平成18年7月31日時点」
 「道路網情報：平成16年度版デジタル道路地図を使用」

直轄国道及び都道府県管理道路の緊急輸送道路の凡例

- 耐震補強実施済橋梁
- 耐震補強一部実施橋梁
- 耐震補強未着手橋梁
- 耐震補強完了区間 ※緊急輸送道路相互の交差点圏で詳細
- 耐震補強未了区間
- 県管理道路の優先確保ルート

橋梁耐震補強マップ
 URL: <http://www.mlit.go.jp/road/bosai/taisin/taisin.html>

高速道路の凡例

- 耐震補強完了区間 ※インターチェンジ(又はランプ)圏で詳細
- 耐震補強未了区間

平成19年度
の計画

耐震補強完了率の向上、一般道路50%、
高速道路100%を目指します

- 引き続き耐震補強工事を実施し、平成19年度の耐震補強完了率、一般道路(橋梁)50%、高速道路(橋脚)100%を目指します。